

地方議員の系列化についての覚書

——新潟第三区の事例——

星

明

はじめに

本稿の目的は、保守系国会議員による地方議員の系列化を、新潟第三区内の一町一村の議会議員の具体的な事例でみることにある。新潟第三区は、田中角栄元首相の選挙区であり、日本の政治風土の原型ともいわれる選挙区である。ただこの選挙区に限らず、地方自治体の三割自治という現実、自民党の地方組織の弱さ、自民党内の派閥選挙、等々といった政治状況のもとではいくつもの擬似三区が生まれることは構造的なものといえよう。したがって、ここで新潟第三区を事例にとりあげた理由は、多くのデータが利用しやすいからに他ならない。

新潟第三区の衆議院議員は自民党三名、社会党一名、無所属一名である。自民、無所属の議員はそれぞれ後援会を組織している。その一つである田中角栄の個人後援会「越山会」は、強固な組織力をもっており、昭和五十八年十二月十八日執行の第三七回総選挙では二万七六一票の大量票を集めた。この越山会の組織図については後掲することにして、その新潟県政界における位置に触れておこう。「新潟県越山会」の会員は、九万五〇〇〇人といわれ、こ

れは三区の有権者五万四三七七人の約一七％にあたる。三区内の三三市町村（七市六郡一七町九村）の首長の三〇人までが田中支持といわれ、⁽¹⁾ 実際五人は地域の越山会長でもある。また、三区内市町村議会議員七三〇人の約四割が越山会系といわれている。⁽²⁾ さらに県議会議員（定員六五名）の三区内の二〇人のうち、越山会系は一三名、六五％である。⁽³⁾

第三七回総選挙における保守系の得票率は、無所属の田中角栄（越山会）四六・六％、自民党「鈴木派」村山達雄（山紫会）一〇・二％、自民党「中曽根派」渡辺秀央（秀央会）一〇・〇％、自民党「無派閥」桜井新（一新会）八・六％であった。

このような政治状況にある新潟第三区の全体、南魚沼郡六日町議会および北魚沼郡湯之谷村議会における地方議員の系列化の実態をみていきたい。

一、新潟県の政界

ここでは全県レベルで衆議院議員、県議会議員、市議会議員、町村議会議員の党派別構成を概観しておこう。第一表にみられるように衆議は、昭和五十五年と五十八年の間に自民プラス一、社会マイナス一となっている。また、県議は昭和五十八年四月の改選の前後で、自民プラス五、社会マイナス三となっている。市議は自民が四三、社会が一〇減らしているのに対して、公明が五、そして無所属が三〇増やしている。つまり、新潟県における政党化は、衆議九三・三％、県議九六・九％、市議四三・一％、町村議九・七％である。

第1表 新潟県全体の党派別構成

党 派	衆 議 ⁽¹⁾	県 議 ⁽²⁾	市 議 ⁽³⁾	町 村 議 ⁽⁴⁾	衆 議 ⁽⁵⁾	県 議 ⁽⁶⁾	市 議 ⁽⁷⁾	町 村 議 ⁽⁸⁾
自 民	9 (60.0)	45 (69.2)	94 (15.4)	51 (2.7)	10 (66.7)	50 (76.9)	51 (8.8)	42 (2.3)
社 会	5 (33.3)	13 (20.0)	84 (13.8)	57 (3.0)	4 (26.7)	10 (15.4)	74 (12.7)	55 (3.0)
公 明	—	1 (1.5)	20 (3.3)	15 (0.8)	—	1 (1.5)	25 (4.3)	16 (0.9)
民 社	—	1 (1.5)	23 (3.8)	7 (0.4)	—	1 (1.5)	22 (3.8)	6 (0.3)
共 産	—	1 (1.5)	42 (6.9)	60 (3.2)	—	1 (1.5)	38 (6.5)	61 (3.3)
無 所 属	1 (6.7)	1 (1.5)	339 (55.6)	1,673 (88.7)	1 (6.7)	—	369 (63.3)	1,651 (89.3)
県 政 会	—	2 (3.1)	—	—	—	2 (3.1)	—	—
欠 員	—	1 (1.5)	8 (1.3)	22 (1.2)	—	—	4 (0.7)	17 (0.9)
計	15(100.0)	65(100.0)	610(100.0)	1,886(100.0)	15(100.0)	65(100.0)	583(100.0)	1,848(100.0)

出所：(1) 昭55.6.22執行(第36回総選挙)「朝日新聞」昭55.6.24付。

(2) 昭58.4.10執行県議選の改選前 新潟日報社、『新潟県年鑑－1984年版』P.229。

(3) 『新潟県年鑑－1982年版』から作成。

(4) 同 上。

(5) 昭58.12.18執行(第37回総選挙)「朝日新聞」昭58.12.20付。

(6) 昭58.4.10執行県議選『新潟県年鑑－1985年版』P.437。

(7) 『新潟県年鑑－1984年版』から作成。

(8) 同 上。

昭和五十八年十二月十八日の第三七回総選挙の県内党派別得票率は自民党四七・九％、社会党二〇・五％、民社党五・四％、共産党三・五％、無所属二・一六％であつた(第二表)。社会党は、五十五年と比較して、四分の一から五分の一へと得票率が落ちてゐる。この支配的な要因には一区の米田東吾の引退、二区の阿部助哉の引退、三区の三宅正一の死亡があげられる。

第2表 県内党派別得票率

(上段は今回58年12月)
(下段は前回55年6月)

	一区	二区	三区	四区	全県
自 民	57.32	54.62	28.81	63.14	47.94
	53.87	55.72	27.66	74.38	49.41
社 会	19.37	27.50	15.15	23.49	20.51
	20.03	36.71	23.78	22.79	25.55
民 社	18.31	2.69	—	—	5.42
	19.73	—	—	—	5.27
共 産	4.99	2.11	3.45	3.16	3.49
	6.37	2.60	2.76	2.82	3.70
諸 派	—	—	0.02	—	0.01
	—	—	—	—	—
無 所 属	—	13.08	52.57	10.20	22.63
	—	4.97	45.80	—	16.06

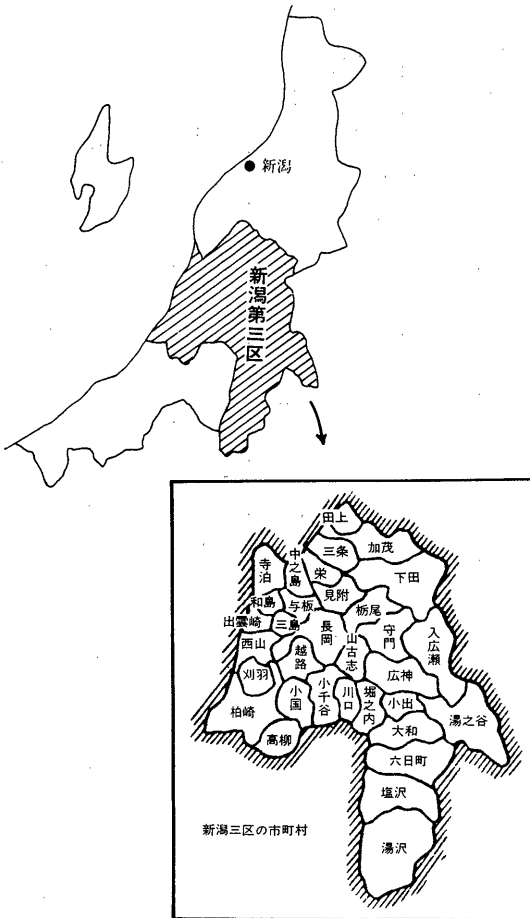
出所：「毎日新聞」(新潟版)、昭58.12.20付。

三七回総選挙での自民党の当選者一〇人の所属派閥は田中派三人、鈴木派三人、中曽根派二人、福田派一、無派閥一人である。また、田中派(含田中角栄)四人が全区で一位当選を果たしている。

二、新潟第三区の概要

(第一図)。新潟第三区はわが国屈指の豪雪地帯である中越地方の七市、六郡一七町、九村の三三市町村から構成されている。それぞれの市町村の人口、世帯数、有権者数は第三表の通りである。

第1図 新潟第三区の位置



第3表 新潟三区内の市町村別人口

地方議員の系列化についての覚書

	世帯数	人口	有権者数		世帯数	人口	有権者数
全 県	668,743	2,458,606	1,779,628	古 志 郡	867	3,273	2,598
市 部	445,378	1,570,481	1,117,133	山古志村	867	3,273	2,598
郡 部	223,370	888,125	662,495	北魚沼郡	13,571	54,843	40,109
長岡市	51,853	182,128	128,295	川口町	1,505	6,575	4,790
三条市	23,158	86,310	60,794	堀之内町	2,515	10,632	7,659
柏崎市	23,869	85,352	61,923	小出町	3,433	12,970	9,272
小千谷市	10,898	44,191	32,257	湯之谷村	1,694	6,529	4,715
加茂市	9,079	36,060	26,544	広神町	2,202	9,551	7,116
見附市	10,429	42,368	30,372	守門村	1,526	5,931	4,531
栃尾市	7,528	29,712	22,176	入広瀬村	696	2,655	2,026
三区市計	136,813	506,121	362,361	南魚沼郡	18,175	73,071	52,750
南蒲原郡	10,407	47,236	34,958	湯沢町	2,759	9,743	6,585
田上町	2,927	11,903	8,582	塩沢町	4,864	20,707	15,430
下田村	2,852	12,757	9,660	六日町	7,043	27,641	19,889
栄 町	2,313	11,405	8,335	大和町	3,509	14,980	10,846
中之島村	2,315	11,171	8,381	刈羽郡	6,941	25,980	20,470
三島郡	13,222	54,327	41,131	高柳町	1,095	3,633	3,065
越路町	3,326	14,231	10,622	小国町	2,280	8,862	6,952
三島町	1,643	6,809	5,135	刈羽村	1,387	5,497	4,121
与板町	1,807	7,598	5,593	西山町	2,179	7,988	6,332
和島町	1,282	5,596	4,266	三区郡計	63,183	258,730	192,016
出雲崎町	2,055	6,858	5,485	三区全体	199,996	764,851	554,377
寺泊町	3,109	13,235	10,030				

(注) 世帯数および人口は、昭和59年4月1日現在。有権者数は昭和58年12月18日当日有権者。

出所：新潟日報社、『新潟県年鑑－1985年版』 P.P.202～3、P.P.236～7。

つぎの第四表および第五表は、第三七回総選挙における各候補者の市町村別得票数および得票率をあらわしたものである。

第4表 各候補者市町村別得票数

〔三 区〕	田 中 角 栄	村 山 達 雄	渡 辺 秀 央	小 林 進	桜 井 新	野 坂 昭 如	岡 崎 圭 介	丸 山 久 明	影 山 次 郎	投 票 率
長岡市	43,799	17,677	7,992	11,033	5,520	8,788	5,952	4,060	15	82.11
三条市	21,097	3,801	8,494	6,586	2,438	4,103	632	1,992	11	81.35
柏崎市	28,501	3,382	2,072	2,837	1,853	4,132	6,423	2,227	9	83.68
小千谷市	14,301	2,854	1,192	4,927	2,530	1,256	349	709	5	87.73
加茂市	10,105	2,665	1,928	1,249	997	1,573	2,695	767	11	83.52
見附市	12,095	3,321	4,593	1,198	1,417	1,521	1,317	832	3	87.34
栃尾市	9,279	2,012	5,457	1,192	317	669	140	469	2	88.73
南蒲原郡	13,464	3,118	4,052	1,982	3,194	1,220	2,562	801	11	87.56
田上町	2,949	1,031	782	365	668	436	942	250	3	87.04
下田村	3,904	550	1,294	380	1,213	273	663	184	2	88.03
栄町	3,118	640	1,089	601	673	256	608	225	2	87.40
中之島村	3,493	897	887	636	640	255	349	142	4	87.69
三島郡	18,310	4,238	4,019	5,068	2,059	1,325	642	805	7	87.29
越路町	5,967	719	832	892	449	385	228	205	4	91.68
三島町	2,223	616	477	588	240	203	126	79	1	89.00
与板町	2,330	683	517	712	302	221	109	124	0	89.93
和島村	1,780	435	278	855	238	90	36	41	0	88.65
出雲崎町	2,165	1,076	428	497	441	153	73	57	2	89.92
寺泊町	3,845	709	1,487	1,524	389	273	70	299	0	86.46
古志郡	1,518	248	140	103	179	30	94	19	1	90.42
山古志村	1,518	248	140	103	179	30	94	19	1	90.42
北魚沼郡	17,583	1,592	3,644	4,730	6,728	1,094	413	862	9	92.00
川口町	2,353	248	439	529	481	116	51	80	0	90.38
堀之内町	3,508	275	613	938	1,127	232	68	192	1	91.54
小出町	2,961	465	565	1,167	2,547	364	146	266	4	92.02
湯之谷村	2,119	184	303	586	774	150	46	86	1	90.73
広神村	3,364	239	808	801	1,035	137	68	105	2	92.89
守門村	2,130	159	390	597	719	55	23	120	1	93.07
入広瀬村	1,148	22	526	112	45	40	11	13	0	94.97
南魚沼郡	18,205	2,720	2,838	2,122	13,326	1,635	5,012	1,940	7	91.25
湯沢町	2,657	407	290	283	1,039	338	445	229	1	87.09
塩沢町	5,133	1,006	1,360	915	3,312	448	1,297	522	0	91.32
六日町	6,241	1,026	797	631	5,550	624	2,348	889	3	91.59
大和町	4,174	281	391	293	3,425	225	922	300	3	93.08
刈羽郡	12,504	696	697	1,061	373	699	1,366	838	2	89.75
高柳町	1,931	111	123	106	29	89	267	88	0	90.21
小国町	3,304	284	443	406	248	200	596	546	1	87.46
刈羽村	2,477	215	87	335	63	193	226	60	1	89.52
西山町	4,792	86	44	214	33	217	277	144	0	72.18
計	220,761	48,324	47,118	44,088	40,931	28,045	27,597	16,321	93	85.93

出所：「毎日新聞」(新潟版)、昭和58年12月20日付。昭和58年12月18日執行、第37回衆議院議員総選挙。

第5表 各候補市町村別得票率

	田中角栄	村山達雄	渡辺秀央	小林 進	桜井 新	野坂昭如	岡崎主介	丸山久明	影山次郎	計	
長 岡 市	41.8 (19.8)	16.9 (36.6)	7.6 (17.0)	10.5 (25.5)	5.3 (13.5)	8.4 (31.3)	5.7 (21.6)	3.8 (24.9)	0.0 (16.1)	100.0 (22.2)	104,836
三 条 市	42.9 (9.6)	7.7 (7.9)	17.3 (18.0)	13.4 (14.9)	5.0 (6.0)	8.4 (14.6)	1.3 (2.3)	4.1 (12.2)	0.0 (11.8)	100.0 (10.4)	49,154
柏 崎 市	55.4 (12.9)	6.6 (7.0)	4.0 (4.4)	5.5 (6.4)	3.6 (4.5)	8.0 (14.7)	12.5 (23.3)	4.3 (13.6)	0.0 (9.7)	100.0 (10.9)	51,436
小千谷市	50.9 (6.5)	10.2 (5.9)	4.2 (2.5)	17.5 (11.2)	9.0 (6.2)	4.5 (4.9)	1.2 (1.5)	2.5 (4.3)	0.0 (5.4)	100.0 (5.9)	28,123
加 茂 市	46.0 (4.6)	12.1 (5.5)	8.8 (4.1)	5.7 (2.8)	4.5 (2.4)	7.2 (5.6)	12.3 (9.8)	3.5 (4.7)	0.1 (11.8)	100.0 (4.7)	21,990
見 附 市	46.0 (5.5)	12.6 (6.9)	17.5 (9.8)	4.6 (27)	5.4 (3.5)	5.8 (5.4)	5.0 (4.8)	3.2 (5.1)	0.0 (3.2)	100.0 (5.6)	26,297
栃 尾 市	47.5 (4.2)	10.3 (4.2)	27.9 (11.6)	6.1 (2.7)	1.6 (0.8)	3.4 (2.4)	0.7 (0.5)	2.4 (2.9)	0.0 (2.2)	100.0 (4.1)	19,537
南蒲原郡	44.3 (6.1)	10.3 (6.5)	13.3 (8.6)	6.5 (4.5)	10.5 (7.8)	4.0 (4.4)	8.4 (9.3)	2.6 (4.9)	0.0 (11.8)	100.0 (6.4)	30,404
田 上 町	39.7 (1.3)	13.9 (2.1)	10.5 (1.7)	4.9 (0.8)	9.0 (1.6)	5.9 (1.6)	12.7 (3.4)	3.4 (1.5)	0.0 (3.2)	100.0 (1.6)	7,426
下 田 村	46.1 (1.8)	6.5 (1.1)	15.3 (2.8)	4.5 (0.9)	14.3 (3.0)	3.2 (1.0)	7.8 (2.4)	2.2 (1.1)	0.0 (2.1)	100.0 (1.8)	8,463
栄 町	43.2 (1.4)	8.9 (1.3)	15.1 (2.3)	8.3 (1.4)	9.3 (1.6)	3.5 (0.9)	8.4 (2.2)	3.1 (1.4)	0.0 (2.1)	100.0 (1.5)	7,212
中之島村	47.8 (1.6)	12.3 (1.9)	12.2 (1.9)	8.7 (1.4)	8.8 (1.6)	3.5 (0.9)	4.8 (1.3)	1.9 (0.9)	0.1 (4.3)	100.0 (1.5)	7,303
三 島 郡	50.2 (8.3)	11.6 (8.8)	11.0 (8.5)	13.9 (11.5)	5.7 (5.0)	3.6 (4.7)	1.8 (2.3)	2.2 (4.9)	0.0 (7.5)	100.0 (7.7)	36,473
越 路 町	61.6 (2.7)	7.4 (1.5)	8.6 (1.8)	9.2 (2.0)	4.6 (1.1)	4.0 (1.4)	2.4 (0.8)	2.1 (1.3)	0.0 (4.3)	100.0 (2.1)	9,681
三 島 町	48.8 (1.0)	13.5 (1.3)	10.5 (1.0)	12.9 (1.3)	5.3 (0.6)	4.5 (0.7)	2.8 (0.5)	1.7 (0.5)	0.0 (1.1)	100.0 (1.0)	4,553
与 板 町	46.6 (1.1)	13.7 (1.4)	10.3 (1.1)	14.3 (1.6)	6.0 (0.7)	4.4 (0.8)	2.2 (0.4)	2.5 (0.8)	—	100.0 (1.1)	4,998
和 島 村	47.4 (0.8)	11.6 (0.9)	7.4 (0.6)	22.8 (1.9)	6.3 (0.6)	2.4 (0.3)	1.0 (0.1)	1.1 (0.3)	—	100.0 (0.8)	3,753
出雲崎町	44.3 (1.0)	22.0 (2.2)	8.8 (0.9)	10.2 (1.1)	9.0 (1.1)	3.1 (0.6)	1.5 (0.3)	1.2 (0.4)	0.0 (2.2)	100.0 (1.0)	4,892
寺 泊 町	44.7 (1.7)	8.3 (1.5)	17.3 (3.2)	17.7 (3.5)	4.5 (1.0)	3.2 (1.0)	0.8 (0.3)	3.5 (1.8)	—	100.0 (1.8)	8,596
古 志 郡	65.1 (0.7)	10.6 (0.5)	6.0 (0.3)	4.4 (0.2)	7.7 (0.4)	1.3 (0.1)	4.0 (0.3)	0.8 (0.1)	0.0 (1.1)	100.0 (0.5)	2,332
山古志村	65.1 (0.7)	10.6 (0.5)	6.0 (0.3)	4.4 (0.2)	7.7 (0.4)	1.3 (0.1)	4.0 (0.3)	0.8 (0.1)	0.0 (1.1)	100.0 (0.5)	2,332
北魚沼郡	48.0 (0.4)	4.3 (2.3)	9.9 (7.7)	12.9 (10.7)	18.4 (16.4)	3.9 (3.9)	1.1 (1.5)	2.4 (5.3)	0.0 (9.7)	100.0 (7.7)	36,655
川 口 町	54.8 (1.1)	5.8 (0.5)	10.2 (0.9)	12.3 (1.2)	11.2 (1.2)	2.7 (0.5)	1.2 (0.2)	1.9 (0.5)	—	100.0 (0.9)	4,297
堀之内町	50.5 (1.6)	4.0 (0.6)	8.8 (1.3)	13.5 (2.1)	16.2 (2.8)	3.3 (0.8)	1.0 (0.3)	2.8 (1.2)	0.0 (1.1)	100.0 (1.5)	6,954
小 出 町	34.9 (1.3)	5.5 (1.0)	6.7 (1.2)	13.8 (8.7)	30.0 (6.2)	4.3 (1.3)	1.7 (0.5)	3.1 (1.6)	0.1 (4.3)	100.0 (1.8)	8,485
湯之谷村	49.9 (1.0)	4.3 (0.4)	7.1 (0.6)	13.8 (1.3)	18.2 (1.9)	3.5 (0.5)	1.1 (0.2)	2.0 (0.5)	0.0 (1.1)	100.0 (0.9)	4,249
広 神 村	51.3 (1.5)	3.6 (0.5)	12.3 (1.7)	12.2 (1.8)	15.8 (2.5)	2.1 (0.5)	1.0 (0.3)	1.6 (0.6)	0.0 (2.2)	100.0 (1.4)	6,559
守 門 村	50.8 (1.0)	3.8 (0.3)	9.3 (0.8)	14.2 (1.4)	17.1 (1.8)	1.3 (0.2)	0.6 (0.1)	2.9 (0.7)	0.0 (1.1)	100.0 (0.9)	4,194
入広瀬村	59.9 (0.5)	1.2 (0.1)	27.4 (1.1)	5.8 (0.3)	2.4 (0.1)	2.1 (0.1)	0.6 (0.0)	0.7 (0.1)	—	100.0 (0.4)	1,917
南魚沼郡	38.1 (8.2)	5.7 (5.6)	5.9 (6.0)	4.4 (4.8)	27.9 (32.6)	3.4 (5.8)	10.5 (18.2)	4.1 (11.9)	0.0 (7.5)	100.0 (10.1)	47,805
湯 沢 町	46.7 (1.2)	7.2 (0.8)	5.1 (0.6)	5.0 (0.6)	18.3 (2.5)	5.9 (1.2)	7.8 (1.6)	4.0 (1.4)	0.0 (1.1)	100.0 (1.2)	5,689
塩 沢 町	36.7 (2.3)	7.2 (2.1)	9.7 (2.9)	6.5 (2.1)	23.7 (8.1)	3.2 (1.6)	9.3 (4.7)	3.7 (3.2)	—	100.0 (3.0)	13,993
六 日 町	34.5 (2.8)	5.7 (2.1)	4.4 (1.7)	3.5 (1.4)	30.6 (13.6)	3.4 (2.2)	13.0 (8.5)	4.9 (5.5)	0.0 (3.2)	100.0 (3.8)	18,109
大 和 町	41.7 (1.9)	2.8 (0.6)	3.9 (0.8)	2.9 (0.7)	34.2 (8.4)	2.3 (0.8)	9.2 (3.3)	3.0 (1.8)	0.0 (3.2)	100.0 (2.1)	10,014
刈 羽 郡	68.6 (5.7)	3.8 (1.4)	3.8 (1.5)	5.8 (2.4)	2.1 (0.9)	3.8 (2.5)	7.5 (5.1)	4.6 (2.2)	0.0 (3.9)	100.0 (3.9)	18,236
高 柳 町	70.4 (0.9)	4.1 (0.2)	4.5 (0.3)	3.7 (0.2)	9.7 (0.1)	1.1 (0.3)	3.2 (1.0)	3.2 (0.5)	—	100.0 (0.6)	2,744
小 国 町	54.8 (1.5)	4.7 (0.6)	7.4 (0.9)	6.7 (0.9)	4.1 (0.6)	3.3 (0.7)	9.9 (2.2)	9.1 (3.4)	0.0 (1.1)	100.0 (1.3)	6,028
刈 羽 村	67.7 (1.1)	5.9 (0.4)	9.2 (0.8)	9.2 (0.8)	1.7 (0.2)	5.3 (0.7)	6.2 (0.8)	1.6 (0.4)	0.0 (1.1)	100.0 (0.8)	3,657
西 山 町	82.5 (2.2)	1.5 (0.2)	0.8 (0.1)	3.7 (0.5)	0.6 (0.1)	3.7 (0.7)	4.8 (1.0)	2.5 (0.9)	—	100.0 (1.2)	5,807
計	220,761 (100.0)	48,324 (100.0)	47,118 (100.0)	44,088 (100.0)	40,931 (100.0)	28,045 (100.0)	27,597 (100.0)	16,321 (100.0)	93 (100.0)	473,278 (100.0)	

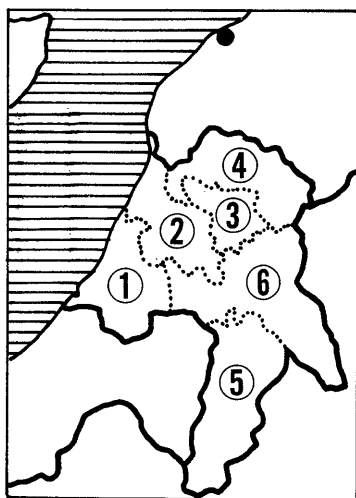
出所：「毎日新聞」（新潟版）、昭和58年12月20日付から作成。

第四、五表にみられるように、田中の得票率は四六・六％であり、全市町村において第二位である。第二位と比べても約四・六倍の得票である。

ここで、田中に焦点をあててその得票率をみてみよう。かれの得票率の相対的に高い市町村を上位から順に五位までみると刈羽郡西山町（八二・五％）、同高柳町（七〇・四％）、同刈羽町（六七・七％）、三島郡越路町（六一・六％）、北魚沼郡入広瀬村（五九・九％）となる。逆に下位からは南魚沼郡六日町（三四・五％）、北魚沼郡小出町（三四・九％）、南魚沼郡塩沢町（三六・七％）、南蒲原郡田上町（三九・七％）、南魚沼郡大和町（四一・七％）となる。この数字の背景には、首長は越山会系か否か、どれ程の地方議員が越山会系か、対立候補者の強い地盤か否か、利益誘導をしたか否か、等々の要因がかかわっている。

今、三区をその生活圏によって①柏崎市・刈羽郡（当日有権者数八万二三九三人）、田中角栄・岡崎圭介の出身地、

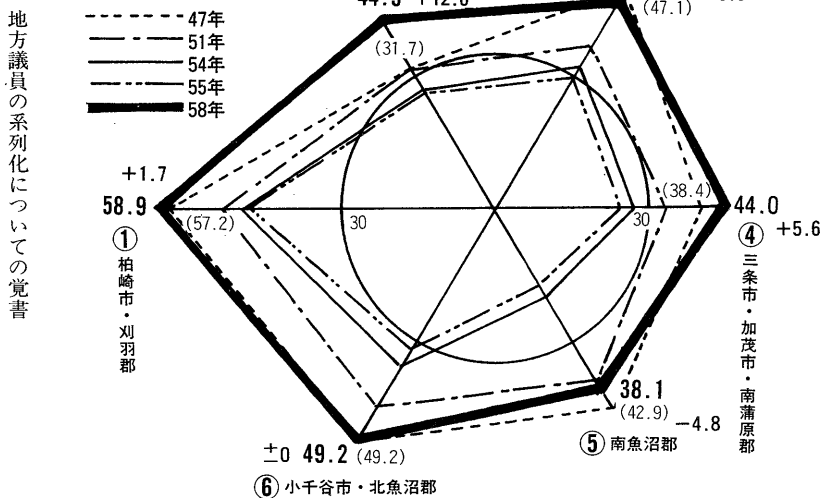
第2図 生活圏による3区の地域区分



出所：「毎日新聞」（新潟版）、
昭和58年12月20日付。

②長岡市・三島郡・古志郡（同一万二〇二四人）、村山達雄・小林進・丸山久明の出身地、
③見附市・栃尾市（同五万二五四八人）、渡辺秀央の出身地、④三条市・加茂市・南蒲原郡（同一万二二九六人）、⑤南魚沼郡（同五万二七五〇人）、桜井新の居住地、⑥小千谷市・北魚沼郡（同七万二三六六人）の六地域に分けられる⁽⁴⁾（第二図）。

第3図 地域区分ごとの田中得票率の推移

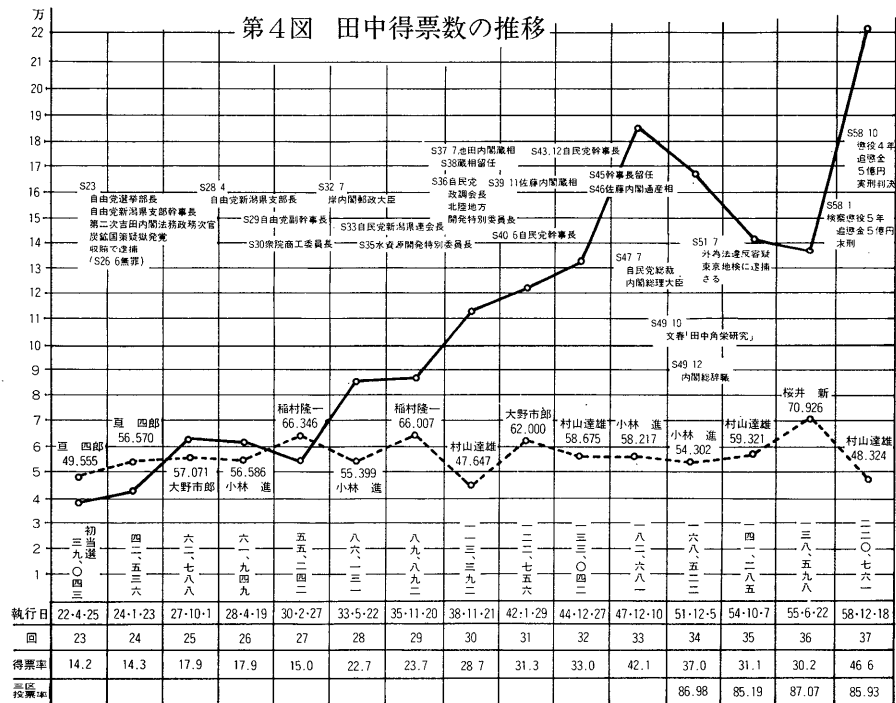


(注) 数字は第37回(昭和58.12.18)の得票率、カッコ内は第33回(昭和47.12.10)の首相当時の得票率。

出所:「毎日新聞」(新潟版)昭和58年12月20日付。

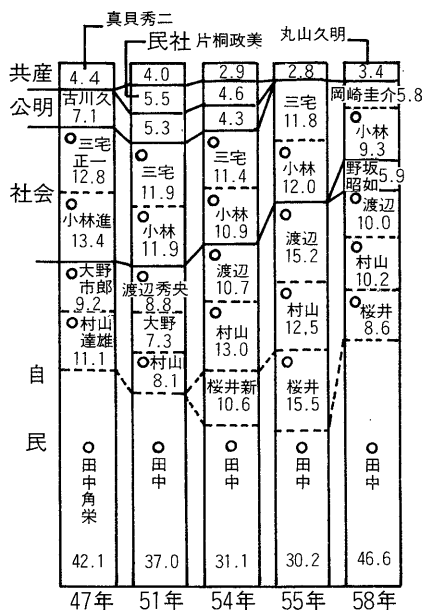
この六つの地域区分ごとの田中の得票率の推移をみたのがつぎの第三図である。

第三七回の四六・六%につぐ田中の得票率は、第三三回(昭和四十七年十二月)の首相当時の四二・一%(一八万二六八一票)である。今、第三七回と第三三回の二時点間で得票率をみると、長岡市・三島郡・古志郡地域の上昇、南魚沼郡地域の下降がある。長岡市地域の上昇の要因は、長岡市の前市長小林孝平(昭和四十二年十一月〜五十九年五月)との協力関係、長岡ニュータウン・上越新幹線・関越および北陸自動車道インターチェンジ、国道八号線バイパスと大手大橋の結合、等々の公共事業とのかわりが考えられ、南



出所：桜井善作、1977、『新潟3区一たったひとりの市民運動ノートから一』、PP.14～15から作成。

第5図 新潟3区の主な候補者の得票率推移



(注) 田中元首相は51年から無所属、桜井氏は54、55年は無所属(数字は%・○印は当選者)。

出所:「毎日新聞」(新潟版)、昭和58年12月20日付。

魚沼郡地域の下降の要因は、対立候補の桜井新の存在があげられる。南魚沼郡における得票率は田中が三八・一%、桜井が二七・九%である。また、個々の市町村でみたばあい、田中の得票率は柏崎市、小千谷市、三島郡越路町、北魚沼郡入広瀬村で際立って高い。一口でいうと、前二市は開発事業とかかわり、後の町村は町村長イコール地区越山会長であることによる。

つぎに、資料として田中得票数の推移、過去五回の衆院総選挙の主な候補者の得票率、戦後二三回からの総選挙の結果をあげておく(第四、五図および第六表)。

第6表 新潟第三区の総選挙結果

第24回 (S. 24. 1. 23)

当	亘 四郎 (自・前)	56,570	(19.0)
当	田中角栄 (自・前)	42,536	(14.3)
当	稲村順三 (社・前)	32,492	(10.9)
当	小林 進 (革・新)	30,611	(10.3)
当	丸山直友 (自・新)	30,386	(10.2)
	清沢俊英 (社・前)	28,077	(9.4)
	安東義雄 (共・新)	22,644	(7.6)
	神山栄一 (民・前)	18,024	(6.1)
	高野雅臣 (民・新)	14,897	(5.0)
	村田万一郎 (自・新)	7,854	(2.6)
	金子信治 (自・新)	7,331	(2.5)
	崎山 健 (無・新)	5,982	(2.0)
計		297,404	(100.0)

第22回 (S. 21. 4. 10)

当	亘 四郎 (自・新)	64,421	(7.7)
当	稲村順三 (社・新)	63,089	(7.5)
当	清沢俊英 (社・新)	59,076	(7.1)
当	塚田十一郎 (自・新)	58,811	(7.0)
当	野村ミス (無・新)	49,327	(5.9)
当	荊木一久 (進・新)	45,122	(5.4)
当	吉沢仁太郎 (進・新)	42,851	(5.1)
当	板倉治作 (自・新)	41,303	(4.9)
	猪俣浩三 (社・新)	40,193	(4.8)
	佐藤三千三郎 (自・新)	34,672	(4.2)
	田中角栄 (進・新)	34,060	(4.1)
	小林 進 (諸・新)	30,286	(3.6)
(以下25名割愛)		(272.964(32.6))	
計		836,175	(100.0)

(注) 第22回は現在の第3区と4区とが包括されて第2区となっている。

出所：公明選挙連盟、1967、『衆議院議員選挙の実績——第1回～第30回——』、PP. 462～4から作成。

第25回 (S. 27. 10. 1)

当	田中角栄 (自・前)	62,788	(17.9)
当	大野市郎 (自・新)	57,071	(16.3)
当	三宅正一 (右社・前)	52,009	(14.9)
当	稲村順三 (左社・前)	50,332	(14.4)
当	亘 四郎 (自・前)	37,429	(10.7)
	小林 進 (協・前)	33,807	(9.7)
	内藤久一郎 (改・元)	22,105	(6.3)
	高野雅臣 (改・新)	20,611	(5.9)
	安東義雄 (共・新)	10,033	(2.9)
	佐藤 剛 (再建新)	3,779	(1.1)
計		349,964	(100.0)

第23回 (S. 22. 4. 25)

当	亘 四郎 (自・前)	49,555	(18.0)
当	神山栄一 (民・新)	49,350	(17.9)
当	田中角栄 (民・新)	39,043	(14.2)
当	清沢俊英 (社・前)	37,020	(13.4)
当	稲村順三 (社・前)	26,260	(9.5)
	小林 進 (社・新)	22,389	(8.1)
	高野雅臣 (諸・新)	11,721	(4.3)
	岩内とみゑ (社・新)	11,451	(4.2)
	上村 進 (共・新)	8,282	(3.0)
	村田万一郎 (自・新)	8,098	(2.9)
	星野 咄 (無・新)	8,052	(2.9)
	田村満靖 (自・新)	4,356	(1.6)
計		275,577	(100.0)

第29回 (S.35.11.20)

当	田中角栄 (自・前)	89,892	(23.7)
当	稲村隆一 (社・元)	66,007	(17.4)
当	三宅正一 (社・前)	51,802	(13.7)
当	大野市郎 (自・前)	51,239	(13.5)
当	小林進 (社・前)	50,965	(13.4)
	亘四郎 (自・前)	44,110	(11.6)
	片桐政美 (民・新)	18,291	(4.8)
	浦沢与三郎 (共・新)	6,997	(1.8)
計		379,303	(100.0)

第26回 (S.28.4.19)

当	田中角栄 (自・前)	61,949	(17.9)
当	小林進 (右社・元)	56,586	(16.3)
当	稲村順三 (左社・前)	51,574	(14.9)
当	亘四郎 (分自・前)	46,690	(13.5)
当	三宅正一 (右社・前)	42,781	(12.3)
	大野市郎 (自・前)	41,365	(11.9)
	田下政治 (改・元)	36,985	(10.7)
	安東義雄 (共・新)	8,623	(2.5)
計		346,553	(100.0)

第30回 (S.38.11.21)

当	田中角栄 (自・前)	113,392	(28.7)
当	村山達雄 (自・新)	47,647	(12.0)
当	稲村隆一 (社・前)	45,493	(11.5)
当	小林進 (社・前)	44,945	(11.4)
当	亘四郎 (自・元)	44,331	(11.2)
	大野市郎 (自・前)	40,770	(10.3)
	三宅正一 (社・前)	35,790	(9.0)
	片桐政美 (民・新)	15,497	(3.9)
	浦沢与三郎 (共・新)	7,644	(1.9)
計		395,509	(100.0)

第27回 (S.30.2.27)

当	稲村隆一 (左社・新)	66,346	(18.0)
当	田中角栄 (自・前)	55,242	(15.0)
当	大野市郎 (自・元)	48,330	(13.1)
当	亘四郎 (民主・前)	48,310	(13.1)
当	三宅正一 (右社・前)	45,653	(12.4)
	小林進 (右社・前)	43,967	(11.9)
	高野雅臣 (民社・新)	37,637	(10.2)
	下条恭兵 (無・新)	15,906	(4.3)
	安東義雄 (共・新)	7,297	(2.0)
計		368,688	(100.0)

第31回 (S.42.1.29)

当	田中角栄 (自・自)	122,756	(31.3)
当	大野市郎 (自・自)	62,006	(15.8)
当	三宅正一 (社・社)	55,377	(14.1)
当	村山達雄 (自・前)	54,563	(13.9)
当	稲村隆一 (社・前)	45,074	(11.5)
	小林進 (社・前)	43,455	(11.1)
	真貝秀二 (共・新)	8,796	(2.2)
計		392,027	(100.0)

第28回 (S.33.5.22)

当	田中角栄 (自・前)	86,131	(22.7)
当	小林進 (社・元)	55,399	(14.6)
当	亘四郎 (自・前)	54,643	(14.4)
当	三宅正一 (社・前)	52,377	(13.8)
当	大野市郎 (自・前)	51,739	(13.7)
	稲村隆一 (社・前)	44,542	(11.8)
	高野雅臣 (無・新)	18,968	(5.0)
	安東義雄 (共・新)	8,092	(2.1)
	棚村重信 (無・新)	6,950	(1.8)
計		378,841	(100.0)

第35回 (S.40.7)

当 田中角栄 (無・前)	141,285	(31.1)
当 村山達夫 (自・前)	59,321	(13.0)
当 三宅正一 (社・前)	52,061	(11.4)
当 小林 進 (社・前)	49,756	(10.9)
当 渡辺秀央 (自・前)	48,454	(10.7)
桜井 新 (無・新)	48,315	(10.6)
片桐政美 (民・新)	21,042	(4.6)
古川 久 (公・新)	19,682	(4.3)
真貝秀二 (共・新)	13,363	(2.9)
西川 攻 (無・新)	1,168	(0.3)
伊丹善二郎 (無・新)	481	(0.1)
計	454,928	(100.0)

第36回 (S.55.6.22)

当 田中角栄 (無・前)	138,598	(30.2)
当 桜井 新 (無・新)	70,926	(15.5)
当 渡辺秀央 (自・前)	69,472	(15.2)
当 村山達雄 (自・前)	57,281	(12.5)
当 小林 進 (社・前)	55,031	(12.0)
三宅正一 (社・前)	53,973	(11.8)
真貝秀二 (共・新)	12,631	(2.8)
伊丹善二郎 (無・新)	383	(0.1)
計	458,295	(100.0)

第37回 (S.58.12.18)

当 田中角栄 (無・前)	220,761	(46.6)
当 村山達雄 (自・前)	48,324	(10.2)
当 渡辺秀央 (自・前)	47,118	(10.0)
当 小林 進 (社・前)	44,088	(9.3)
当 桜井 新 (自・前)	40,931	(8.6)
野坂昭如 (無・新)	28,045	(5.9)
岡崎圭介 (社・新)	27,597	(5.8)
丸山久明 (共・新)	16,321	(3.4)
影山次郎 (諸・新)	93	(0.0)
計	473,278	(100.0)

第32回 (S.44.12.27)

当 田中角栄 (自・前)	133,042	(33.0)
当 村山達雄 (自・前)	58,675	(14.5)
当 大野市郎 (自・前)	50,045	(12.4)
当 小林 進 (社・元)	45,698	(11.3)
当 三宅正一 (社・前)	39,237	(9.7)
金子一夫 (公・新)	36,063	(8.9)
稲村としお (社・新)	30,777	(7.6)
真貝秀二 (共・新)	10,134	(2.5)
計	403,671	(100.0)

第33回 (S.47.12.10)

当 田中角栄 (自・前)	182,681	(42.1)
当 小林 進 (社・前)	58,217	(13.4)
当 三宅正一 (社・前)	55,363	(12.8)
当 村山達雄 (自・前)	48,329	(11.1)
当 大野市郎 (自・前)	39,867	(9.2)
古川 久 (公・新)	30,747	(7.1)
真貝秀二 (共・新)	18,944	(4.4)
計	434,148	(100.0)

第34回 (S.51.12.5)

当 田中角栄 (無・現)	168,522	(37.0)
当 小林 進 (社・現)	54,302	(11.9)
当 三宅正一 (社・現)	54,035	(11.9)
当 渡辺秀央 (自・新)	40,188	(8.8)
当 村山達雄 (自・現)	37,107	(8.1)
大野市郎 (自・現)	33,333	(7.3)
片桐政美 (民・新)	24,966	(5.5)
古川 久 (公・新)	23,914	(5.2)
真貝秀二 (共・新)	18,154	(4.0)
高田 巖 (無・新)	1,044	(0.2)
計	455,565	(100.0)

三、新潟第三区内の市町村議会の党派別構成

市町村議に先だち、三区内の県議の党派別構成をみると二〇人中、自民が一七人（八五％）で県全体の七七％をかなり上まっていることがわかる。また、この一七人中、一三人が越山会系である。また、県政会一人も越山会系である。したがって、三区における県議の越山会系県議の占める割合は七〇％になる。

第7表 三区内の県議会議員の党派別構成

選挙区	党 派	自 民	社 会	県 政 会
長岡市・古志郡		3	1	—
三 条 市		2	—	—
加 茂 市		1	—	—
柏 崎 市		2	—	—
見 附 市		1	—	—
栃 尾 市		1	—	—
小 千 谷 市		1	—	—
東 蒲 原 郡		1	—	—
三 島 郡		2	—	—
刈 羽 郡		1	—	—
北 魚 沼 郡		1	—	1
南 魚 沼 郡		1	1	—
小 計		17(85.0)	2(10.0)	1 (5.0)
計		20(100.0)		

出所：『新潟県年鑑—1985年版』P.437から作成。

つぎに、三区内の市議および町村議の党派別構成をみておこう（第八、九表）。

第8表 三区内の市議会議員の党派別構成

	定 員	自 民	社 会	公 明	民 社	共 産	無 所 属	欠 員
全 県	2,431(100.0)	93 (3.8)	129 (5.3)	41 (1.7)	28 (1.2)	99 (4.1)	2,020 (83.1)	21 (0.9)
市 部	583(100.0)	51 (8.8)	74 (12.7)	25 (4.3)	22 (3.8)	38 (6.5)	369 (63.3)	4 (0.7)
郡 部	1,848(100.0)	42 (2.3)	55 (3.0)	16 (0.9)	6 (0.3)	61 (3.3)	1,651 (89.3)	17 (0.9)
長 岡 市	35(100.0)	—	5 (14.3)	2 (5.7)	1 (2.9)	3 (8.6)	24 (68.6)	—
三 条 市	36(100.0)	11 (30.6)	5 (13.9)	2 (5.6)	2 (5.6)	4 (11.1)	12 (33.3)	—
柏 崎 市	32(100.0)	1 (3.1)	3 (9.4)	2 (6.3)	3 (9.4)	2 (6.3)	21 (65.6)	—
小 千 谷 市	25(100.0)	11 (44.0)	4 (16.0)	1 (4.0)	—	1 (4.0)	8 (32.0)	—
加 茂 市	24(100.0)	1 (4.2)	4 (16.7)	1 (4.2)	—	2 (8.3)	16 (66.7)	—
見 附 市	22(100.0)	—	1 (4.6)	1 (4.6)	1 (4.6)	1 (4.6)	18 (81.8)	—
枋 尾 市	22(100.0)	1 (4.6)	1 (4.6)	1 (4.6)	1 (4.6)	—	18 (81.8)	—
三区市議合計	196(100.0)	25 (12.8)	23 (11.7)	10 (5.1)	8 (4.1)	13 (6.6)	117 (59.7)	—

出所：『新潟県年鑑—1984年版』P P.364～406から作成。

第9表 三区内の町村議会議員の党派別構成

	定員	自民	社会	公明	民社	共産	無所属	欠員
全県計	2,431(100.0)	93 (3.8)	129 (5.3)	41 (1.7)	28 (1.2)	99 (4.1)	2,020 (83.1)	21 (0.9)
市部計	583(100.0)	51 (8.8)	74 (12.7)	25 (4.3)	22 (3.8)	38 (6.5)	369 (63.3)	4 (0.7)
郡部計	1,848(100.0)	42 (2.3)	55 (3.0)	16 (0.9)	6 (0.3)	61 (3.3)	1,651 (89.3)	17 (0.9)
南蒲原郡	90(100.0)	—	4 (4.4)	—	—	3 (3.3)	83 (92.2)	—
田上町	22(100.0)	—	3 (13.6)	—	—	—	19 (86.3)	—
下田村	24(100.0)	—	1 (4.2)	—	—	1 (4.2)	22 (91.7)	—
栄町	22(100.0)	—	—	—	—	1 (4.6)	21 (95.5)	—
中之島村	22(100.0)	—	—	—	—	1 (4.6)	21 (95.5)	—
三島郡	18(100.0)	14 (11.9)	3 (2.5)	—	—	4 (3.4)	96 (81.4)	1 (0.9)
越路町	22(100.0)	—	1 (4.6)	—	—	1 (4.6)	20 (90.9)	—
三島町	18(100.0)	—	—	—	—	—	18(100.0)	—
与板町	18(100.0)	—	1 (5.6)	—	—	1 (5.6)	16 (88.9)	—
和島村	18(100.0)	—	—	—	—	—	18(100.0)	—
出雲崎町	18(100.0)	14 (77.8)	—	—	—	—	3 (16.7)	1 (5.6)
寺泊町	24(100.0)	—	1 (4.2)	—	—	2 (8.3)	21 (87.5)	—
古志郡	14(100.0)	—	—	—	—	—	14(100.0)	—
山古志村	14(100.0)	—	—	—	—	—	14(100.0)	—
北魚沼郡	130(100.0)	—	4 (3.1)	—	—	3 (2.3)	123 (94.6)	—
川口町	18(100.0)	—	—	—	—	—	18(100.0)	—
堀之内町	20(100.0)	—	2 (10.0)	—	—	1 (5.0)	17 (85.0)	—
小出町	22(100.0)	—	2 (9.1)	—	—	1 (4.6)	19 (86.4)	—
湯之谷村	18(100.0)	—	—	—	—	—	18(100.0)	—
広神村	20(100.0)	—	—	—	—	—	20(100.0)	—
守門村	18(100.0)	—	—	—	—	1 (5.6)	17 (94.4)	—
入広瀬村	14(100.0)	—	—	—	—	—	14(100.0)	—
南魚沼郡	106(100.0)	—	6 (5.7)	3 (2.8)	—	7 (6.6)	89 (84.0)	1 (0.9)
湯沢町	20(100.0)	—	1 (5.0)	1 (5.0)	—	2 (10.0)	16 (80.0)	—
塩沢町	30(100.0)	—	1 (3.3)	1 (3.3)	—	1 (3.3)	27 (90.0)	—
六日町	30(100.0)	—	4 (13.3)	1 (3.3)	—	2 (6.7)	23 (76.7)	—
大和町	26(100.0)	—	—	—	—	2 (7.7)	23 (88.5)	1 (3.9)
刈羽郡	76(100.0)	—	1 (1.3)	1 (1.3)	—	4 (5.3)	70 (92.1)	—
高柳町	16(100.0)	—	—	—	—	1 (6.3)	15 (93.8)	—
小国町	22(100.0)	—	1 (1.3)	1 (4.6)	—	2 (9.1)	18 (81.8)	—
刈羽村	18(100.0)	—	—	—	—	—	18(100.0)	—
西山町	20(100.0)	—	—	—	—	1 (5.0)	19 (95.0)	—
三区内部部計	534(100.0)	14 (2.6)	18 (3.4)	4 (0.8)	—	21 (3.9)	475 (89.0)	2 (0.4)

出所：第8表と同じ。

三区市内町村においては、全県と比較したばあい市部では自民党、公明党、民社党、共産党の割合が高く、社会党、無所属の割合が低い。また、郡部では自民党、社会党、共産党の割合が高く、公明党、民社党、無所属の割合が低い。それでは、具体的に南魚沼郡六日町議会および北魚沼郡湯之谷村議会の議員の系列化の実態をつぎにみよう。

四、町村議会議員の系列化

—— 六日町と湯之谷村のばあい ——

ここでは衆議の田中角栄、村山達雄、渡辺秀央、桜井新が六日町議会および湯之谷村議をどのように系列化しているかをみる。

まず、昭和五十八年十二月の第三七回総選挙の候補者別得票数をみよう（第一〇表）。

三区全体の数字からみて、六日町で強い候補者は桜井新、岡崎圭介、丸山久明である。また、湯之谷村で強い者は田中角栄、小林進、桜井新である。田中の六日町における得票率は三三市町村の最下位であり、湯之谷村は一四位である。

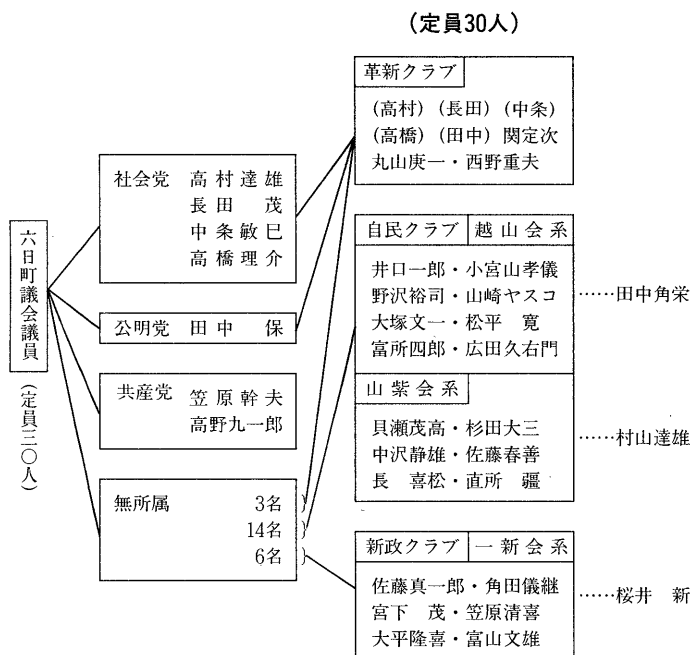
第10表 第37回衆議院選の候補者別得票数

	三区全体		六日町		湯之谷村	
	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
田中角栄	220,761	46.6	6,241	34.5	2,119	49.9
村山達雄	48,324	10.2	1,026	5.7	184	4.3
渡辺秀央	47,118	10.0	797	4.4	303	7.1
小林進	44,088	9.3	631	3.5	586	13.8
桜井新	40,931	8.6	5,550	30.6	774	18.2
野坂昭如	28,045	5.9	624	3.4	150	3.5
岡崎圭介	27,597	5.8	2,348	13.0	46	1.1
丸山久明	16,321	3.4	889	4.9	86	2.0
影山次郎	93	0.0	3	0.0	1	0.0
計	473,278	100.0	18,109	100.0	4,249	100.0

出所：「毎日新聞」（新潟版）、昭和58年12月20日付から作成。

第6図 六日町議会議員の党・会派別構成

地方議員の系列化についての覚書



(一) 六日町のばあい

(注) カッコ内は再掲者である。関定次議員は角谷健議員死亡に伴う補選(昭和58.4.24)で無投票当選。昭和56年4月26日一般選挙。

六日町議会は社会党四人、公明党一人、共産党二人、無所属二三人の三〇人から構成されている。議会の党・会派別構成はつぎの通りである(第六図)。

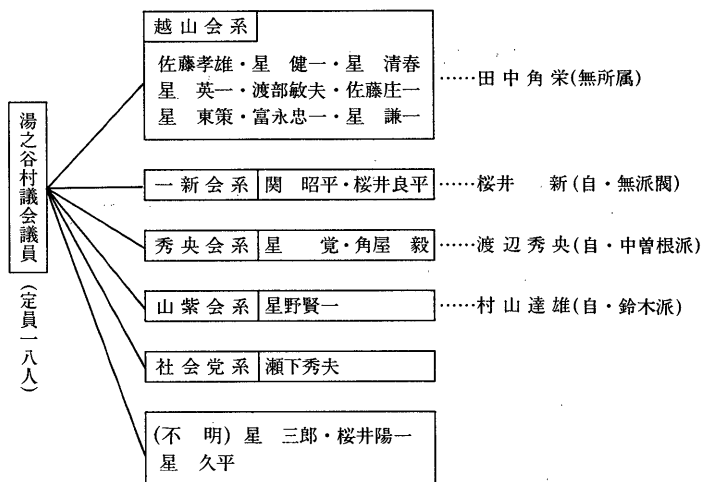
第11表 六日町議会議員の党・会派別議員数
および得票数

党・会派別	議 員 数	%	得 票 数	%	備 考
革新クラブ	8	26.7	4,126	25.3	
社 会 党	(4)	(13.3)	(2,260)	(13.9)	
公 明 党	(1)	(3.3)	(444)	(2.7)	
無 所 属	(3)	(10.0)	(1,422)	(8.7)	
自民クラブ	14	46.7	7,603	46.6	
(無)越山会	(8)	(26.7)	(4,130)	(25.3)	田 中 角 栄
(無)山紫会	(6)	(20.0)	(3,473)	(21.3)	村 山 達 雄
新政クラブ	6	20.0	3,400	20.7	
(無)一新会	(6)	(20.0)	(3,400)	(20.9)	桜 井 新
共 産 党	2	6.7	1,179	7.2	
計	30	100.0	16,308	100.0	

第六図、第一一表にみられるように、三〇名中二〇名の議員が三人の国會議員によって系列化されている。約七割の議員と票が系列化されている。桜井新は元越山会青年部長・元県議から、昭和五十四年十月の衆院選に立候補し、その時は一三九票差で落選したが、五十五年六月のダブル選挙で初当選した。立候補以前の昭和五十二年四月に越山会と一新会とは分離した。⁽⁶⁾それ以後、越山会の勢力保持と一新会の勢力拡大の争いがみられる。たとえば、五十七年十一月七日の長岡市長選での越山会側の現市長支援に対する一新会側の前市議齋藤博支援、五十七年十二月五日の北魚沼郡小出町長選の越山会側の現町長(当時)横山鉄雄に対する一新会側の桜井宗の支援、五十五年四月の南魚沼郡大和町長選、五十七年七月の同郡塩沢町長選、五十二年八月の北魚沼郡湯之谷村長選での越山会側の前農協組合長星忠利支援に対する一新会側の前助役星彦三郎支援、五十六年八月の同村長選における越山会側の元村長上重快丹支援に対する一新会側の現町長星彦三郎支援等々があげられる。⁽⁷⁾

第7図 湯之谷村議会議員の会派別構成

地方議員の系列化についての覚書



(二) 湯之谷村のばあい

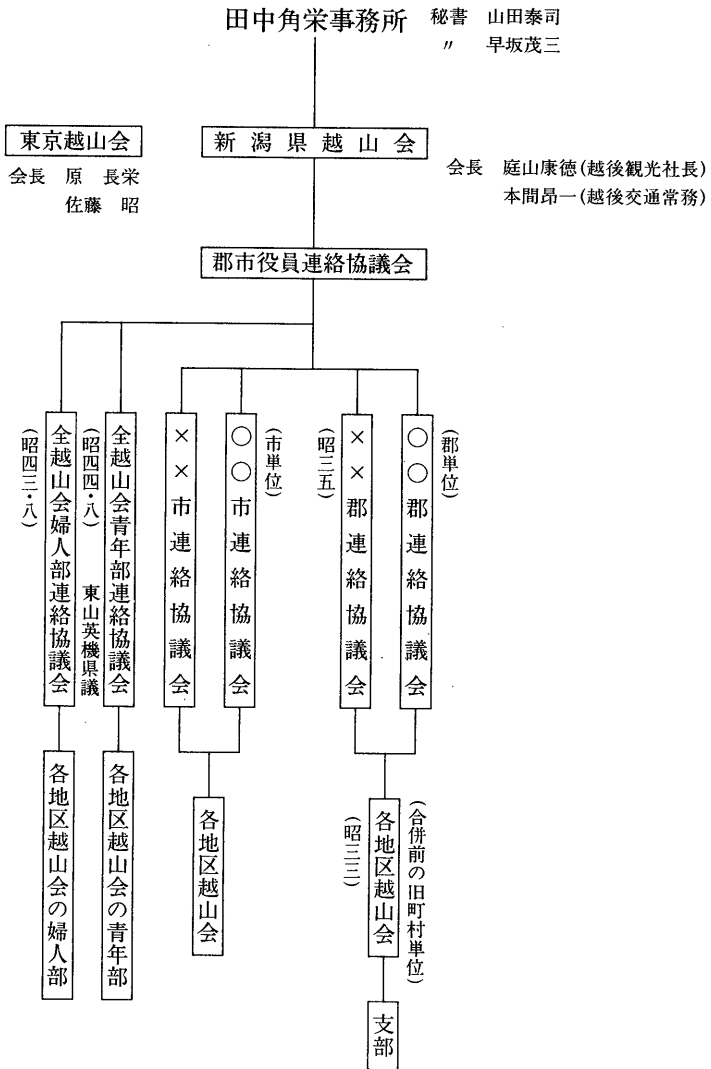
(注) 昭和58年4月24日湯之谷村議選にもとづく。

湯之谷村議会は全員無所属の一八名から構成されている。前回昭和五十八年四月二十四日は無投票当選であった。現職一人、新人六人、元職一人が当選した。前々回の昭和五十四年四月二十三日の村議選では定員一八名のうち越山会系は八名であり、これら八名の得票数の合計は一七〇〇票で、四〇・〇%の得票率となっていた。

昭和五十八年四月の選挙(無投票)にもとづく現在の村議会の会派別構成は次の通りである。

なお、右にみた町村において最も勢力をもっている田中角栄元首相の後援会越山会の組織はつぎのようである。

第8図 越山会組織図



出所：新潟日報社編、1983、『ザ・越山会』新潟日報事業社、P P.191～5。

黒田展之編、1984、『現代日本の地方政治家—地方議員の背景と行動—』、法律文化社、P.157。

註

- (1) 「朝日新聞」、昭和五十八年十二月十一日付。桜井善作、一九七七『新潟三区―たったひとりの市民運動ノートから』、二八六
〜一九〇頁および朝日新聞新潟支局、一九八二、『田中角栄と越山会―深層の構図―』、山手書房、四二頁。
- (2) 朝日新聞新潟支局、同右、二二頁。
- (3) 「毎日新聞」(新潟版)、昭和五十八年十月十五日付。
- (4) 「毎日新聞」(新潟版)、昭和五十八年十二月二十日付。なお、この地域区分は行政レベルの生活圏とは異なっている。たとえば新潟県企画調整部統計課編、新潟県統計協会発行の『にいがた県の商業』、『新潟県の人口移動』などをみよ。
- (5) 小林前長岡市長は、昭和五十九年五月四日、二年半の任期を残して辞意を表明した。市長選は前助役の日浦晴三郎と共産党県委員会副委員長真貝秀二とで争われた。昭和五十九年六月十日執行(投票率四九・一%)、当選日浦(六五)、無・新、五万六九四票、真貝(五九)、共・新、一万六八九票。日浦は君健男知事支援、社会党・民社党・公明党推薦、真貝は野坂昭如支援、共産党公認(新潟日報社、一九八四、『新潟県年鑑一九八五年版』、一七九頁)。
- (6) 小林と田中との協力関係については、朝日新聞新潟支局、一九八二、『田中角栄と越山会―深層の構図―』、山手書房、二二三〜三二頁および新潟日報社編、一九八三、『角栄の風土』、新潟日報事業社、二七三〜三三五頁に詳しい。
- (7) 朝日新聞社新潟支局、同右、二二七頁。
- (7) 同右、二二〇〜二四四頁。および新潟日報社『新潟県年鑑』の各年度版参照。